

(様式1)

3島教総第210号

令和3年10月29日

文部科学大臣 殿

島原市長 古川 隆三郎

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

島原市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

令和元年度（1年間）

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和3年10月29日 教育委員会定例会

(2) 評価の方法

11月教育委員会定例会において、当該事業である、第二小学校、三会中学校の公害防除(降灰対策・空調機更新)事業、第二小学校、第五小学校、第一中学校、第二中学校の大規模改造(トイレ)事業について、実績報告を行い、教育委員から評価を受けた。結果を本市ホームページにて公表し、市民からの意見聴取に努める。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標はおおむね達成できた。
当該事業の実施により、猛暑による児童生徒への健康被害予防、トイレの機能面向上等、教育環境改善に大きく寄与しており、学校、保護者からの評価も高く、事業実施により大きな効果を上げることができた。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

該当なし

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

公害防除(降灰対策・空調機更新)事業について、雲仙普賢岳噴火災害対策として設置された既存設備が老朽化により故障が多発しており、空調機を更新することにより、猛暑下における教育環境の改善に大きく寄与した。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

該当なし

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

大規模改造(トイレ)事業について、既設建物空間の機能面や老朽化・衛生面を考慮し、改修を行い、男女の区分化、和式から洋式便器への改修等により、機能面の充実と、災害時の避難場所としての環境整備、質的な向上に大きく寄与した。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

該当なし

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

該当なし

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
第二小学校	(2)	20	公害(降灰)	校	R	H31.4～R1.12	R1.12.25		
三会中学校	(2)	20	公害(降灰)	校	R	H31.4～R2.1	R2.1.30		
第二小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	W	R1.11～R2.6	R2.6.17		
第五小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	W	R1.6～R2.5	R2.5.13		
第一中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	W	R1.6～R2.4	R2.4.16		
第二中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	W	R1.6～R2.7	R2.7.31		